

解答

- ① (1) イ
- (2) 青紫色
- (3) デンプン (養分)
- (4) 空気
- (5) デンプン
- (6) 水
日光 (光)
肥料 (養分)

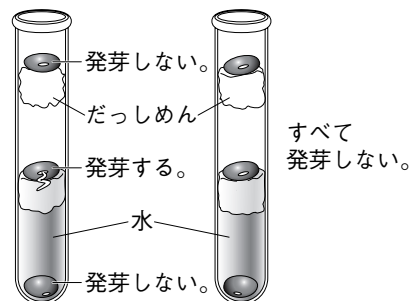
- ② (1) 記号 イ
名称 おしべ
- (2) 記号 キ
名称 めしべ
- (3) 受粉
- (4) ケ

- ③ (1) 日なた
- (2) ア→イ→ウ
- (3) カ→オ→エ
- (4) 同じ

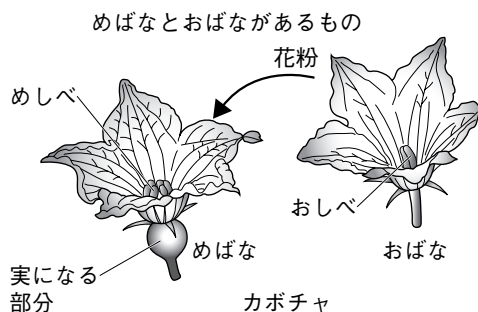
解説

- ① (1) アは根・茎・葉になる部分。
イは養分がふくまれている部分である。
- (2), (3) ヨウ素液は、デンプンを青紫色に変える性質があるので、デンプンがふくまれているかどうかを調べることができる。
- (4) 種子を水の中にしずめて空気とふれない状態にしておくと、発芽しない。
- (5) 植物は、生きていくための養分を自分でつくっている。
- (6) 植物の成長には、水のほかに日光と肥料が必要である。

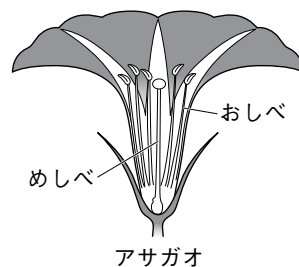
あたたかいところ 冷たいところ



- ② (1), (2) おばなにおしべ、めばなにめしべがある。おしべの先には花粉ができる。めしべの先はさわるとべとべとしていて、花粉がつく。
- (3) 花粉がめしべの先につくことを、受粉という。
- (4) 受粉が行われると、めしべのふくらんだ部分が育って実になる。



1つの花にめしべとおしべがあるもの



- ③ (1) 日光があたる日なたの方が、地面の温度は高くなる。
- (2), (3) 太陽は、東から出て南を通り、西にしずむ。かげは太陽の方向と反対の方向にできるので、西から東へ動く。
- (4) 月も、太陽のように東から西へたえず動いている。

